

ヤマベ ヨシタ
山邊 義孝 様

神奈川県・頸髄損傷（C5レベル）

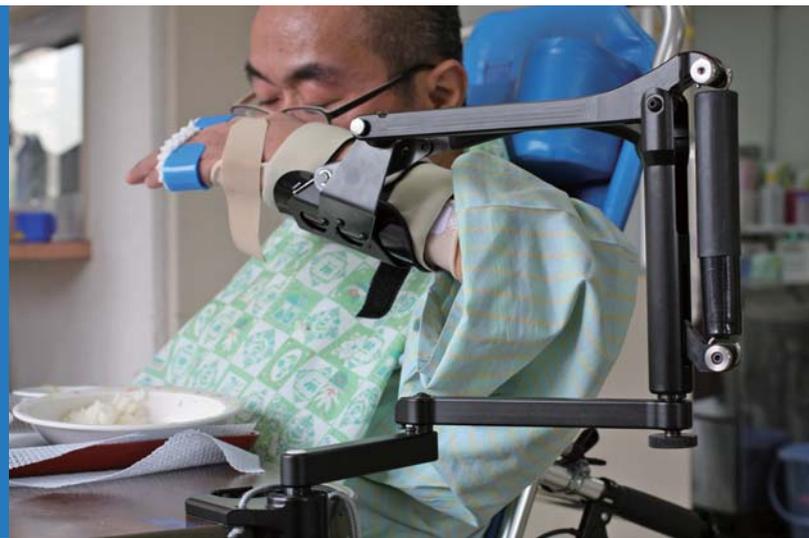
【使用構成】

タイプ : MOMO プライム

使用している腕 : 左腕

スプリング強度 : 中

使用リンク数 : 3本



部分的に介助は必要だが、MOMO プライムを使えば自分で食べることができる。
この違いは、かなり大きい。

導入時期

2013年7月

導入前の状態

- 上肢近位、遠位ともに自力では全く動かせない状態。
- バランサータイプの上肢装具を試したが、作業耐久性が低くすぐに疲れてしまう。

導入した理由

- 自分で食事やタブレットの操作ができるようになりたいから。
- MOMO プライムを試した際、回数を重ねるほど作業ができるようになったから。

導入した効果

- 一部介助が必要なものの、自分自身で食事できるようになった。
- ヘルパーや看護師がセッティングできるため、病室でも使用できるようになった。

使用時の工夫

- 前腕・手・指の動作を補うため、OT自作のスプリントを使用。

セッティングが簡単だから、病室での食事にも使える

山邊様は、2013年7月にMOMOプライムを使い始めました。現在は神奈川県内の病院に入院・生活されています。MOMOプライムは主に食事をするときに使っており、OTさんが作成したスプリントと組み合わせています。肘の屈曲や前腕の回外・内動作をすることが難しいので、お皿を移動させるときや器からスープを飲むときには助けが必要ですが、ご自身が動かせるスペースをうまく使って口元へスプーンを運んでいます。「部分的に介助は必要だが、MOMOプライムを使えば自分で食べることができる。この違いは、かなり大きい。」と山邊様。「自分でできる」ということの価値を強調していました。



2014年2月からは共有スペースだけでなく病室でも使用できるようになり、ヘルパーさんや看護師さんがMOMOプライムのセッティングをすることが多いそうです。シンプルなつくりだから、OT/PTさんでなくても設置・調節ができる、というMOMOの特徴が活かしています。

リハビリを通じて、食事以外の作業にも挑戦

取材当時、協動的な動きを覚えるリハビリの一環として、雑誌をめくる動作の練習を始めていました。雑誌をスタンドに立てかけて滑り止めのゴム手袋をつけ、ページを1枚ずつめくっていく。45分間集中して練習を続けた山邊様はかなり疲れた様子でしたが、「MOMOプライムがあるから練習できること」と前向きな様子でした。「これからMOMOプライムを使ってどんなことにチャレンジしたいですか？」と聞いてみると、「タブレットでインターネットやメールをやりたい」と答えてくれました。MOMOプライムはこれからも、できることを増やしていこうとする山邊様の意欲を支えています。



お問合せ：テクノツール株式会社

Email: office@ttools.co.jp

www.ttools.co.jp

稲城事業所

東京都稲城市東長沼 2106-5 マスヤビル 4F
Tel: 042-370-6377 / Fax: 042-370-6378

大阪営業所

大阪府岸和田市野田町 1-12-10 シルクルーム 501
Tel: 050-3772-1412 / Fax: 042-370-6378

※受付時間 月曜日から金曜日 10時～12時 / 13時～17時